

龍谷大学校友会

山口県支部だより

第6号

龍谷大学校友会
山口県支部
山口市小郡花園町3-7
本願寺山口別院内

令和2年度の 主な活動報告

●6月

当初の計画では、北部(萩・長門)地区の引き受けて二〇二〇(令和2)年度総会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により4・5月には全国的に緊急事態宣言がなされていたことから、残念ながら同一の場所に集合する形式での開催を断念せざるをえませんでした。理事会において



初の試みとなった「校友会たより」上での総会(第5号)

前年度の活動並びに決算の報告、当該年度の予算と活動計画を当支部校友会員のみなさまにお知らせをすべきという提案から、「龍谷大学校友会 山口県支部だより 第5号」の紙面における当支部発足以来初の書面総会となりました。

●8月11日

二〇一九(令和元)年度龍谷奨励賞を受賞された大來尚順さんに山口県支部より更なるご活躍を期待して記念品を贈呈しました。

大來さんは現在、山口県内に活動の拠点を移され、山口市にある超勝寺のご住職を勤めておられるほか、執筆や講演などの活動、現在 t y s テレビ山口「mix」にコメンテーターとしても出演されています。

写真は、桑羽支部長から大來さんへ記念品を贈呈したときの様子です。

なお、今年度の当支部総会



記念品贈呈の様子

の開催が新型コロナウイルス感染症の影響のため、例年に比べ大幅に遅れておりますが、当面は感染のリスクがありますためオンライン形式で総会を開催し、その際の記念講演として大來さんよりお話をいただく予定とされています。(詳しくは同封のご案内をご覧ください。)

●10月31日

第35回「全国支部長会」がオンライン(ズーム)を利用して本部と当支部の事務局のある本願寺山口別院、そして全国の各支部を結ぶ画面越しでの開催となりました。

例年は、母校のある京都市内に関係者が集まって開催されますが、やはり新型コロナウイルスの感染防止のため、このような方法がとられました。

当支部からは桑羽支部長並びに久保事務局長が出席、第1部では校友会の赤間徹真会長及び入澤崇学長のあいさつに始まり、母校の現況・校友会本部の活動について報告がありました。続いて第2部では、ワークショップとしてグループ討議が行われ、母校校友会の強みや好き

なところ、反対に弱みや苦手なところをお互いに発表し、その中から、その強みを伸ばすためにできること、弱みを克服できる方法について話し合いました。

当支部のような地域単位の支部があるほか、同じ企業の社員や行政の職員で組織されている支部があり、当支部とは異なった取り組みがされていることを知ることができたほか、話し合いの中で、SNSを活用し、積極的に情報発信を行っている支部があるなど、当支部の今後の運営についてもたいへん参考になりました。

この会は、本来は同じ所に集まって参加者がお互いに

近況について語り合う場であり、正直なところ直接集まることができなかつたことに少し寂しさを感じる部分もありました。

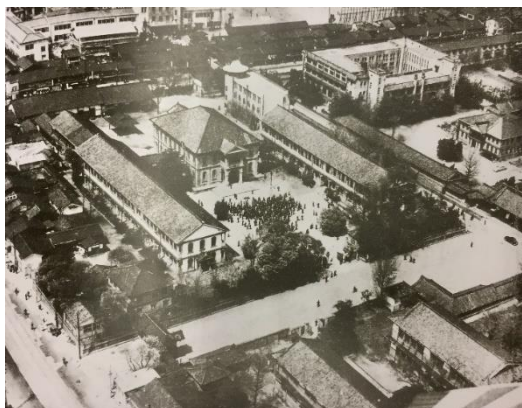
ただ、「密」になることを避けることが求められる現在、オンラインの導入は有効な方法であるともいえるでしょう。

また、オンラインを活用することで、お体が不自由で直接参加することが難しい、時間的に会場に向かうための都合がつかない会員の方もいらつしやるとしたら、そのような方にも加わっていただくことができるようになります。当支部の校友会活動をさらに広げることができるのではないかと考えます。



オンライン支部長会(赤松校友会会長あいさつ)

写真で見る母校の今昔



1956(昭和 31 年)当時の大宮学舎



1968(昭和 43)年頃の深草学舎

コロナ禍により昨年度の当支部活動のほとんどが中止、その結果、ご報告がほとんどできなくなりましたので、代わりに今号では、変化し続ける母校の様子をお伝えいたします。



深草学舎の現在、顕真館と右側の図書館などがある和顔館、敷地内にはスターバックスもあります。



フラワーアレンジメント



陶芸体験&ランチ親睦会



アロマキャンドル



浴衣 De お呈茶



コーチング&質問カフェ



日帰り京都弾丸ツアー

- 2014. 1.25 女子会(仮称)発足準備会参加 (京都深草キャンパス)
- 2014. 5.10 「龍 ron 小町」発足式参加 (京都西本願寺阿弥陀堂)
- 2015.11.22 歌舞伎観劇&ランチ親睦会 (長門市)
- 2016.10.29 癒しの空間で陶芸体験&ランチ親睦会 (下松市)
- 2017. 4.29 フラワーアレンジメント体験&ランチ親睦会 (山口市)
- 2018. 6.24 手作りキャンドル De ティーパーティー (山口別院)
- 2018. 7. 7 山口県支部 30 周年記念「浴衣 De お呈茶 (山口別院)
- 2019. 7. 6 コーチング&質問カフェ (下関市)
- 2019.10.18 龍 ron 小町 5 周年記念
「京都日帰りいだてんツアー」(京都市)

『龍 ron 小町とともに・・・』

校友会とのご縁は、確か娘が中3の頃、二〇一三年の秋頃だったと思います。「校友会本部から女性2名ほど推薦するように言われまして・・・」山口県支部事務局の男性から、1本の電話をいただいたことから始まります。

年が明け1月に、京都深草キャンパスで女子会(仮称)発足準備会が行われました。ちょうど娘が高校受験の時でした。20代から70代と幅広い年代の方々、それだけに個性たつぷりな方たちの集結でした。

その前の年二〇一三年の春に、校友会本部が龍谷大学町家キャンパスにて「女性卒業生と女性現役学生との座談会」を開催されたそうです。彼女たちの声「遠く離れていても、子供を出産しても、介護で出掛けることが難しくても、ずつとかかわり続けることが出来る環境づくりが大切だと思っ

る。子育てに関しても、又子供を持たずに生きていく女性も、同じような先輩の声が聞けたらいいですね。子育てについて、校友会の集まりに子供を連れていける校友会・家族で参加できる校友会もいいですね。」この小さな声、座談会が後の「龍 ron 小町」発足のきっかけとなりました。

昔は卒業生も男性ばかりでしたが、いまや龍大も女性卒業生は全体の40%を超えたそうです。校友会活動も、女性の参加が増えたと、きつともっと楽しくなるような気がします。女性がもっと気軽に参加しやすいイベントをやっていききたいですね。

さて山口県支部は、龍 ron 小町5周年記念特別企画として二〇一九年11月に「日帰り京都弾丸ツアー」を行うことが出来ました。始発の新幹線にとび乗り、そうだ京都いこう!!懐かしい大宮キャンパスや西本願寺を心を込めてガイドしていただきました。これは龍大卒業生の特権をフル活用したツアーでした。行動自粛を要請される今となっては、皆さんと一緒に楽しい時間を共有できたことは、とても有り難く感謝しています。

卒業生の小さな声を拾ってくださいました校友会に感謝しながら、これから私も皆さんからのお声と一緒に進んで参りたいと思います。校友会のご縁の輪を、共に広げて参りましょう。皆さん、お気軽にご参加ください。

山口県支部理事 松田祥子